

## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月30日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ピーエスシー  
 コード番号 3649 URL <http://hos.ne.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相原 輝夫  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 藤田 篤  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 TEL 089(947)3388  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	979	32.1	269	33.7	271	34.4	167	44.7
24年12月期第2四半期	741	34.9	201	303.1	202	367.4	115	434.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	38.70	37.73	
24年12月期第2四半期	27.39	26.11	

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,742	1,492	85.6
24年12月期	1,828	1,376	75.3

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,492百万円 24年12月期 1,376百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	2,400 20.7	812 14.3	839 14.0	523 21.1	120.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

#### ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期 2 Q	4,324,000株	24年12月期	4,324,000株
② 期末自己株式数	25年12月期 2 Q	一株	24年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期 2 Q	4,324,000株	24年12月期 2 Q	4,221,990株

（注）平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 繼続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	7
4. 補足情報	7
(1) 経営管理上重要な指標の推移	7
(2) 生産、受注及び販売の状況	7
添付資料 平成25年12月期第2四半期累計期間の業績予想及び実績について	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や各種の経済政策効果等を背景に、公共投資は引き続き増加し、消費者マインドや企業収益の改善の中で設備投資も緩やかな増加基調となるなど、景気回復に向けた持直しの動きが見られました。

当社が市場とする医療業界におきましては、経済産業省の「医療の国際化」や厚生労働省の医療制度改革等の推進により、市場規模の一層の拡大に期待感が高まっており、医療情報システム市場も引き続き堅調に成長を続けております。同時に、急性期機能を持つ医療機関と回復期や療養期の機能を担う医療機関とのネットワークによる連携や、地域基幹病院とかかりつけ医及び患者との情報共有による疾病管理など、病院完結型医療から地域完結型医療への転換期に差し掛かっており、医療機関にはさらなる医療の質の向上や経営の効率化が要求されるとともに、地域連携機能やヘルスケア分野も含めたIT化が今後の実質的な必須要件となりつつあります。

このような環境の中、当社では、大学病院をはじめとする大規模病院への医療用データマネジメントシステムClaioやClaioシリーズ製品(※1)、院内ドキュメント/データ管理システムDocuMaker及び紹介状添付CD/DVD取込システムPDI+ MoveByの販売・導入に注力するとともに代理店による診療所への電子カルテREMORAの導入にも積極的に取組み、大規模案件23件及びクリニック・小規模病院案件45件の新規・追加導入を行いました。

この結果、当第2四半期累計期間における当社の売上高は、979,957千円(前年同四半期比132.1%)、営業利益は269,884千円(同133.7%)、経常利益は271,745千円(同134.4%)、四半期純利益は167,325千円(同144.7%)となりました。

研究開発活動については、情報自動取得/仲介連携システムP-Launcherに、新技術Active Bitmap Character Reader(※2)機能を搭載したP-Launcher/BCRと、BCR機能を中心とする汎用データ連携ツールBCR-Data Connectorを開発し、平成25年4月1日より販売を開始しております。P-Launcher/BCRは、一般医療機関、自治体に加え、当社以外の医療システムメーカーに対して、BCR-Data Connectorは医療機関のほか、一般の企業・システムメーカーに対しても販売を行ってまいります(※3)。

また、PHRソリューションの一環として、スマホお薬手帳をリリースいたしました。本製品は、平成25年5月14日に神奈川県から発表された「神奈川マイカルテプロジェクト」の実証実験でも利用されております。今後も、自治体や医療機関グループ、薬局グループに向けた販売を中心に行うとともに、個人ユーザレベルでの利用に向けた研究開発にも取組んでまいります(※3)。

※1. 紙カルテ・文書アーカイブシステムC-Scan、カルテ記事記載システムC-Noteなど、Claioと連携することで院内データの一元管理を実現する「画像と文書の統合ソリューション」群であります。

※2. 画面上に表示されたテキストを高速かつ正確に認識する新技術であります。

※3. 平成25年3月22日及び平成25年5月15日に公表しました「新製品のリリースに関するお知らせ」によりお知らせいたしております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、1,742,407千円となり、前事業年度末と比較して85,938千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加380,145千円に対し、受取手形及び売掛金の減少462,684千円によるものであります。

負債は、250,335千円となり、前事業年度末と比較して201,828千円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少38,230千円及び未払法人税等の減少138,403千円によるものであります。

純資産は、1,492,072千円となり、前事業年度末と比較して115,890千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加115,437千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して332,145千円増加し、785,157千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、572,566千円(前年同四半期比109.8%)となりました。主な要因は、税引前四半期純利益が271,745千円及び売上債権の減少による増加462,684千円に対し、法人税等の支払による減少234,521千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、189,195千円(前年同四半期比69.5%)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出125,034千円及び定期預金の預入による支出66,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、51,225千円(前年同四半期比460.6%)となりました。主な要因は、配当金の支払による支出51,145千円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想は、現時点では、平成25年2月14日の公表数値から変更いたしません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	571,512	951,657
受取手形及び売掛金	718,798	256,113
商品	52,177	30,941
仕掛品	56	4,650
その他	55,666	34,082
流動資産合計	1,398,211	1,277,445
固定資産		
有形固定資産	60,558	66,808
無形固定資産		
ソフトウエア	288,833	310,325
その他	344	344
無形固定資産合計	289,177	310,670
投資その他の資産	80,397	87,483
固定資産合計	430,134	464,961
<b>資産合計</b>	<b>1,828,346</b>	<b>1,742,407</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,903	23,672
未払法人税等	239,219	100,816
その他	138,485	112,895
流動負債合計	439,608	237,384
固定負債		
その他	12,554	12,950
固定負債合計	12,554	12,950
<b>負債合計</b>	<b>452,163</b>	<b>250,335</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	247,282	247,282
資本剰余金	217,282	217,282
利益剰余金	911,346	1,026,783
株主資本合計	1,375,910	1,491,347
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	272	724
評価・換算差額等合計	272	724
<b>純資産合計</b>	<b>1,376,182</b>	<b>1,492,072</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,828,346</b>	<b>1,742,407</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	741,584	979,957
売上原価	306,784	418,140
売上総利益	434,799	561,816
販売費及び一般管理費	232,941	291,932
営業利益	201,857	269,884
営業外収益		
受取利息	323	85
受取配当金	150	150
助成金収入	1,420	1,386
その他	231	319
営業外収益合計	2,124	1,941
営業外費用		
支払利息	512	—
支払保証料	899	—
株式交付費	325	80
その他	0	—
営業外費用合計	1,736	80
経常利益	202,245	271,745
特別損失		
固定資産除却損	1,273	—
特別損失合計	1,273	—
税引前四半期純利益	200,971	271,745
法人税、住民税及び事業税	86,996	97,726
法人税等調整額	△1,686	6,693
法人税等合計	85,310	104,419
四半期純利益	115,660	167,325

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	200,971	271,745
減価償却費	7,362	8,745
ソフトウエア償却費	72,819	102,819
受取利息及び受取配当金	△473	△235
支払利息	512	—
株式交付費	325	80
有形固定資産除却損	1,273	—
売上債権の増減額(△は増加)	426,082	462,684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,067	16,642
前払費用の増減額(△は増加)	1,098	△15,431
未収入金の増減額(△は増加)	—	28,545
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,011	△38,230
未払金の増減額(△は減少)	△28,724	△31,619
未払費用の増減額(△は減少)	7,646	11,017
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,553	△17,403
その他	3,717	7,642
小計	618,979	807,002
利息及び配当金の受取額	473	85
利息の支払額	△515	—
法人税等の支払額	△97,276	△234,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	521,661	572,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△126,500	△66,000
定期預金の払戻による収入	17,000	18,000
有形固定資産の取得による支出	△8,655	△11,426
無形固定資産の取得による支出	△143,844	△125,034
その他	△10,312	△4,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272,313	△189,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	19,825	—
株式の発行による支出	△325	△80
配当金の支払額	△30,621	△51,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,121	△51,225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	238,226	332,145
現金及び現金同等物の期首残高	310,089	453,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	548,315	785,157

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 4. 補足情報

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであります。

## (1) 経営管理上重要な指標の推移

	第28期 第2四半期累計期間	第29期 第2四半期累計期間	第28期
売上高 (千円)	741,584	979,957	1,987,789
営業利益 (千円)	201,857	269,884	710,321
経常利益 (千円)	202,245	271,745	736,219
四半期(当期)純利益 (千円)	115,660	167,325	431,877
純資産 (千円)	1,056,834	1,492,072	1,376,182
総資産 (千円)	1,376,701	1,742,407	1,828,346
1株当たり純資産 (円)	245.67	345.07	318.27
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	27.39	38.70	101.21

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり純資産及び1株当たり四半期(当期)純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

## (2) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
医療システム事業	338,839	125.8

(注) 1. 金額は当期総製造費用によっております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## ② 受注状況

当第2四半期累計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
医療システム事業	905,635	117.0	261,032	95.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウエア	756,362	125.6
ハードウエア	67,283	201.7
メンテナンス等	156,311	147.2
合計	979,957	132.1

(注) 1. 当第2四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日本電気株式会社	272,572	36.8	152,259	15.5

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 添付資料

平成25年12月期第2四半期累計期間の業績予想及び実績について

## 1. 平成25年12月期第2四半期累計期間の業績予想及び実績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
当初予想	百万円 1,064	百万円 315	百万円 320	百万円 199	円 銭 46.02
今回発表値	979	269	271	167	38.70

## 2. 業績について

当第2四半期累計期間の実績は、売上計上（検収）の時期が、上期から下期へ変更となった案件が数件あったことから、売上高は979,957千円（対業績予想92.1%）、営業利益は269,884千円（同85.7%）、経常利益は271,745千円（同84.9%）、四半期純利益は167,325千円（同84.1%）となりました。

業績予想は下回りましたが、対前年同四半期比は、売上高は132.1%、以下、営業利益133.7%、経常利益134.4%、四半期純利益144.7%となり、健全な成長を持続するとともに、各段階利益率についても、売上高営業利益率27.5%（前年同四半期より0.3%増加）、売上高経常利益率27.7%（同0.5%増加）、売上高四半期純利益率17.1%（同1.5%増加）となりました。

## 3. 通期業績予想

上記のとおり、当初上期に予定されていた案件の検収時期の変更は当事業年度内でのものであり、通期の業績予想は、平成25年2月14日の公表数値から変更ありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。